

# 技術士だより

(社) 日本技術士会九州支部・九州技術士センター春季号<第43号> (平成12年3月15日発行)

## 巻頭言

### 水は土色

九州支部副支部長 新城 精一 (宮崎・建設)

#### 長江の橋

6000kmにわたって悠久の大地を南北に分断してきた長江の流れに始めて橋がかけられたのは、今から43年前のことです。これで“出来ないことの例え”にされてきた「長江の橋と黄河の治水」によようやく終止符が打たれたわけです。

その武漢長江大橋を渡りました。全長1600m、鉄道、道路の二階建のトラス橋で、夜目にも威風堂々たる風格がありました。

三峡から重慶まで600kmをさか登る間に二つの橋をくぐりました。

ひとつは、三峡ダム直下流の橋梁で、径間約700mのメタルの吊橋でした。アンカーブロックの見当らないスマートな橋梁であり、夜はライトアップされ、高層ホテル、公園と相まってダムの街とは思えない美しい景観を呈していました。

もうひとつは、三峡からはるか上流、重慶の途中で長径間のコンクリートのアーチ橋がありました。耐震基準の違いからか、非常にスレンダーな美しい橋梁でした。

#### 水は土色

長江も黄河と同じく土色でした。三峡という響きから山紫水明の山水画の世界をイメージしていたのですが、下流から上流までその色は変わることはありませんでした。

「水は水色」で育った者には、大洪水を見ているようで妙に落ちつかない眺めでしたが、これが長江文明をはぐくみ育ててきた母なる大河であり、また、三国志の舞台としては似つかわしいのかも知れないとひとり納得しました。

兩岸の風景も昔は、深山幽谷、樹木におおわれていたとのことですか、今はところどころ灌木の繁みが残るだけでした。急傾斜地も畑地にされ、「耕して天に至る」風景が目につきました。

#### 海拔10m

三峡ダムは、河口からはるか1900km上流にあります、その河床高は60m程度にすぎません。また基盤岩までの根入れが50m程度なので、底盤の高さは海拔10mということになります。

河床勾配は限りなくゼロに近いことにはなりますが、それでも長江の水はとうとうと流れていました。

近年、乱伐のせいで土砂の流出が激しく、年々、中下流の河床が上昇していると言われてます。「百年河青を待つ」治山治水事業に斯待したいものです。

#### 三峡ダムは完成しない

先日手にした「経営速報」に三峡ダムは完成しない、という記事がありました。理由として、米国が融資しない。首脳が足並がそろわない、外資が不足しているうえ現場では立ち退き料のピンハネ、材料の横流し、入札におけるワイロが横行していることなどがあげられていました。

現場では、最も困難な仮締切りは既に終了し、本体のコンクリート打設も順調に進んでいるように見えました。技術者の一人として万難を排して完成して欲しいと願うのみであります。

(株)国土調査事務所

## 私の提言

### 創業者支援

九州技術士センター業務企画委員長 大里 信義 (北九州・化学)

アメリカの経済が好調である。バブルではないか、もう息切れするのではないかなど言われながら続いている。これだけ続いてくると、単なるバブルとか景気の変動の波などではないことは明かである。それに比較して日本の景気はなかなか浮上しない。

アメリカでは創業者が廃業者に比較して多く輩出しているのに、日本ではその逆である。アメリカは日本に比べると、ベンチャー企業が続々と出てくる風土やインフラが整っているのが大きな原因であるというのが一般的な見方である。したがって日本でも景気を良くするためには創業者がもっと増えるように、創業者支援をしなければならないというのでいろいろな施策がなされている。

アメリカと日本で経済の格差がこれほど出てきたのは風土やインフラの差だけなのだろうか。原因はもっと他にもあるのではないだろうか。独断と偏見を試みてみた。

本来、景気が良くなるとか経済が発達するとか言う事の本質的な要因はどこにあるのか？ 生産、建設、交通、物流、その他いろいろな指標での見方があるが、それは結果であって本質的なものではない。

突詰めて本質的なものは何かと考えてくると、それは個人個人の満足度（これは安全、安心、便利、健康などかなり数値で表せないものを含む）が向上するような物やサービスが創出され、それに対して人々がその価値を認め、費用を払うようになる事であろうと思うに至った。そこで支払われる費用が大きければ大きいほど経済は拡大するのである。

今起こっている情報、通信の大きな変革、これはトフラーの言う「第三の波」である。この第三の波の効用（つまりは満足度の向上の度合い）をアメリカと日本で比較してみる。

ちょっと前まではアメリカはだだっ広くて人口密度が小さく、おまけに国内で時差もあるので、情報

の伝わり方は超過密の日本より効率的ではなかった。この事がビジネスのスピードと情報交換の質においてアメリカが日本に劣っていて、日本が負けなかった一つの理由であろう。東京の朝の通勤ラッシュを経験してそう実感する。ところがインターネットが使える様になって、アメリカはその効用をフルに受け劣勢を一挙に挽回するようになった。インターネットの便利さが日本とけた違いに大きいのである。以心伝心、顔を合わせて一杯飲んでやっとな話が通じるという日本と、契約社会で何でも文書でというアメリカとの違いも、インターネットの効用の違いになって現れたのかもしれない。

その満足度向上の差が新しいビジネスの発生の頻度に関係しているのではないだろうか。日本でもこれだけの満足度の向上がある場合は続々と創業が行われるのではないだろうか。日本人がこのあたりのマインドでアメリカ人に劣っているとは考えにくい。

また満足度の向上の度合いの大きい事業ほど成功の確率も高いと思われる。

新しいビジネスを起こすにしても、無理やりとにかく創業せよ、創業せよだけでは無駄な努力に終わる可能性がある。その新しく起こした事業が人々の生活やビジネスの質を向上させるものでなければならぬ。となりのうどん屋が儲かっているようだからうちもはじめようかという創業ではあまり有効ではない。また単なるコストダウンやリストラで競争企業を打ちのめすような事業でも経済の拡大にはあまり効果はない。

われわれ技術士が今後創業支援をすることは多いし、また創業支援を通じて日本経済の復活に大いに力を発揮しなければならないだろう。その場合に大切なことは、その新規事業が大所高所から見て人々の生活やビジネスの質を向上させるのにどれだけ役立つのかを考えて、費用対効果の大きいものから手をつけるようにすべきであろう。

## 交流を考えるセミナーを終えて

九州支部事業委員長 恒松 道信（福岡・建設）

去る12月1日福岡市において「交流を考えるセミナー」が開催されました。

いま、いろいろな分野で交流という言葉が使われています。国際交流、文化交流、地域交流、世代間交流、異業種交流等々様々です。交流がキーワードとして注目されるのも、現代の縦型社会の行き詰まった世相を反映しているのでしょうか。古の交流のなかには、文化や伝統として、現代でも脈々と息づいているものもあります。また、私たちの周囲でも、これから新たな交流の場がつくられ、新しい価値が創造されようとしています。

丁度、歴史的2000年を迎えるにあたり、九州の将来を占うためにも、交流について考えることは、時宣を得ていると思います。従いまして、(社)日本技術士会九州支部では、具体的な事例をもとに、交流の意義を考えるセミナーを企画した次第です。

今回、三つの異なるカテゴリーから共通のコンセプト「交流」の視点でテーマを選び、交流のあり方、その意義と効果について考えてみることにしました。

まず、一つは、文化交流として「古代韓国からの文化の道」を取りあげました。わが国の文化の源流を辿れば、必ず、大陸との交流に行き着くことは、誰でも認めるところです。古来から大陸、とくに朝鮮半島と隣接する北部九州が文化交流の玄関口として重要な位置にありました。この位置関係は、過去のみならず、将来も開かれたアジアへの拠点として、ますます重要視されています。わが国文化の源泉にもなった仏教伝来と当時の交流のルートをささえた時代背景について、さらに理解を深めることにしました。

現在、近くて遠き隣人とも云われる韓国、過去に悲しむべき歴史があったとはいえ、両国の友好関係の機運はますます隆まりつつありますし、相互理解がきわめて重要になります。時あたかも記念すべき2000年です。今秋には、この九州の地で、第30回日

韓技術士会議が開催されることになっています。まさに九州支部にとりましても、国際交流の年になります。

講師は田村圓澄先生（九州大学名誉教授、文学博士）で、歴史の機威です。仏教伝来を通して、日韓両国の古代交流について有意義なご講演をいただきました。

つぎに、地域交流として「九州新幹線とは、その事業と地域への影響」を取りあげました。従来から、九州は文化、経済が福岡市を中心に北部九州に偏在し、九州の均衡ある発展の面から大きな課題とされてきました。これからの地方の時代づくりに備え、地域と地域を結ぶ時間空間短縮及び地域活性化の決め手として、新幹線整備への期待は大きいものがあります。

講師は田中健二先生（日本鉄道公団九州新幹線建設局局長）で、長年新幹線一筋に歩んでこられ、豊富な経験と実績を積まれた方です。既設の新幹線の事例を踏まえて、地域へもたらす事業効果及び九州新幹線の現状と課題について、ご講演をいただきました。

三番目に、人と自然の交流として「河川の自然環境保全、復元と住民参加のあり方」について取りあげました。最近、メダカさえもが、悲しいかな種の絶滅が危惧されています。これも、人間優先、効率追求のつけが、今日のような自然環境破壊をもたらしたと云えましょう。このように、失われゆく自然環境のなかで、河川の事例を通して、その保全と復元、住民との関わり、参加のあり方等を考えてみました。

講師は島谷幸宏先生（建設省土木研究所河川環境研究室室長）で、河川環境問題について、現場経験も豊富な新進気鋭の研究者です。

おかげで、セミナー参加者も600名を越す盛況で



終了することができました。これもご後援いただいた在福岡大韓民国総領事館、建設省九州地方建設局、日本鉄道公団九州新幹線建設局、西日本新聞社

をはじめ、またご協賛いただいた諸協会各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

## 第29回 日韓技術士会議に参加して

政野 光男（福岡・建設）

第29回、日韓技術士会議の概要については、既に“技術士だより〈42号〉”で支部顧問、水上信照氏から報告されているので、重複を避け、会議の内容について感想を述べたい。

今回の会議のテーマは「東北アジアの現況と将来について」であった。日本側の発表者中山輝也氏（応用理学）は、“東北アジア情報・物流・観光について”，韓国側は鮮干賢範氏（発送配電）が“経済協力と産業基盤について”，伊甲求氏（発送配電）が“平和産業と観光について”それぞれスライドを用いて発表された。

論旨は、東北アジア地域の国際関係の特徴として、異なった、政治・経済・社会制度の国、北朝鮮・中国・モンゴル・ロシアとの協力関係をどのように進めるか、これまでの政治要因優先から、経済的な相互依存へもって行くには、忍耐と寛容、そして対話と相互理解への努力が必要であり、これらの国の豊富な資源と労働力を生かすため、各国の役割分担など“新経済技術圏の構築・東北アジア構想”に関する内容であった。

午後は、第一分科会：エネルギー資源と環境、第二分科会：物流、インフラストラクチャー、第三分科会：建設と安全、第四分科会：技術者の資格・制度の交流、第五分科会：自由課題（英語による討

論）の5分科会に分かれて、熱心な討議が行われた。

私は技術者の資格制度に関心があったので、第四分科会に出席した。日本側からは梅田技術士会長、堀内技術士会専務理事、韓国側からは金命年技術士会長他が出席し、日本側の発表者、尾島正男氏（経営工学）が“APECeng 制度に対応した日本の技術士制度改正の動向”，宮原宏氏（建設）が“建設技術士の未来像 New Paradigm”について。

韓国側は、許埴氏（土木）が“APEC Professional Engineer 相互承認について”を発表された。

論旨は、本格的に APEC エンジニア制度が確立され、運営を始めることになった。技術者資格制度のグローバル基準に対して、日本では技術士制度の抜本の見直しにより、技術士法の改正が焦点になってきた。“APEC エンジニアの定義は、

- (1)認定、または承認されたエンジニアリング課程を修了していること。
- (2)自己の判断で業務を遂行する能力があると、当該組織機関から認められていること。
- (3)エンジニアリング課程終了後、少なくとも7年間の実務経験を有すること。
- (4)少なくとも2年間重要なエンジニアリング業務の責任ある立場での経験を有すること。
- (5)経験的専門能力開発を、満足すべきレベルで維



日本技術士会梅田会長挨拶



パーティー会場ロビーのモニュメント



持していること。

(6)それぞれの組織機関に適用されている業務規範を遵守すること。

(7)自己の業務に個人として責任をもつこと。

以上の要件を満たしていると認められた者をAPEC エンジニアと言う”とのことであった。韓国語が全く判らず会議に出席したが、同時通訳で討議の内容は理解できた。韓国の技術士には、建築・土木施工・安全管理部門も含まれていた。

## 熊本県技術士会セミナー

# 台風18号の高潮災害と新しい産業の展開

熊本地区代表幹事 林 博昭 (熊本・農業)

- ・日時 平成11年12月8日 17:30~20:00
- ・場所 リバーサイドホテル
- ・参加者 35名

台風18号は、天草から島原半島をかすめ荒尾市へ抜ける有明海横断コースをたどって、熊本県の不知火町松合地区に大きな高潮災害の傷跡を残し、大分山口方面へ通過していった。

高潮は、海岸に向かって強風が吹くことによる「吹き寄せ効果」と、気圧低下に伴い海面が持ち上がる「吸上げ効果」によって発生する。

即ち、①台風が有明海・八代海の西側を通過して強風を加速させ、②地形が南西に向いたV字状をした遠浅の内湾で吹き寄せ効果が起こり、③その時の潮位が大潮の満潮時と重なったために吸い上げ効果が発生した。いわゆる地形的・気象的な3つの悪条件が重なったために大きな高潮災害が発生したのである。

今度の高潮災害は犠牲者12名で、台風災害は熊本県で510億に及び、家屋のほかに果樹、水稻、ハウスなどの農業被害が大きく、特に海岸沿いの農地では高潮による塩害が広がり深刻な問題を引き起こしている。

高潮災害をしてみると、今回は八代海湾奥部で大きな被害をもたらしたが、有明海湾中部では昭和2年9月の台風で高潮災害が発生している。この時も有明海を横断した台風が大潮の満潮と重なり、その高潮で堤防が決壊し、奥古閑村(現熊本市)などでは海水が4kmにわたって陸地へ流入し、有明海沿岸一帯で423名もの犠牲者を出している。

以上が私が参加した会議の内容である。

第30回、日韓技術士会議は、平成12年11月16日(木)に福岡市で開催することが既に決定している。会議の実質的な運営は「日韓産業構造調査研究委員会」が当たるそうだが、実務作業は開催地の実行小委員会が担当するのだという。残された準備期間は足早に過ぎて行くものである。山口一弘委員長以下役員を、日本技術士会九州支部総力を挙げて支援し、是非この国際会議を成功させなければならない。

また、有明海湾奥部では、昭和60年8月31日有明海の直ぐ西側を北上した台風13号によって、佐賀県有明海沿岸の市町村がほとんど高潮を受け、最大瞬間風速43.0mによる吹き寄せ効果によって堤防の決壊、越波をまねき、家屋の倒壊、塩害など総額133億円の被害と犠牲者3名を出している。

有明海・八代海の沿岸地域は、約700年前の鎌倉時代から続けられてきた干拓が諫早湾干拓で終わりを告げ、低地部の標高が最低で(-)1.00mであるから、それより大潮満潮時の標高約(+)4.00mまでの範囲930km<sup>2</sup>(佐賀市、柳川市、熊本市、八代市の中心部はほとんど含まれる。)は、130kmに及ぶ干拓堤防で守られている。この干拓堤防は、一番新しい干拓で直接潮を受ける堤防を第一線潮受堤、二番目に古い干拓堤防を第二線堤防、三番目に古い干拓堤防を第三線堤防と呼んでおり、第一線潮受堤が決潰したら第二線堤防で陸地を護り、あと第三線堤防がそれに続くといった役割が言い伝えられてきている。

この第一線潮受堤は、ほとんどが基礎処理技術のなかった時代に作られたもので、軟弱地盤の上に浮かせた状態で築堤されている。そのため、堤防の沈下が進行して、地盤の厚みなどによって沈下にバラツキが生じてくると亀裂が生じ、波返し等が破損して、漏水が堤防全体に広がっていくことになる。このような堤防の劣化・老朽化が進むと自然災害を受け易くなって、高潮時における潮位の上昇約5mや、阪神、淡路大震災級のよう地震が襲った場合に堤防の安全率は0.6程度となって、これらの数値を見るかぎり堤防はひとたまりもなく決潰すること



になる。

また、新しい産業の展開については、(財)地域流通経済研究所の岩永祥三常務理事から講演を頂いた。講演は、県内企業の経営効率化への取組みについて調査され、その結果を報告されたもので興味深いものがあつた。

## 2000年新春会員研修会

### NGO 狸が新春研修会に出現？

九州技術士センター研修委員長 内山 順治 (佐賀・林業)

『人類は、誤作動騒ぎで年を越し』新たに、激流の2000年に突入しました。

日本も、あらゆる政策、法案、計画の構想段階から、地域と地球の環境に及ぼすインパクトを調査、分析、予想し、立案の可否を選択する、戦略的環境影響評価の制度導入を急ぎ検討中です。グローバルゼーションを見据えた日本の戦略構築に、技術士諸先生のご活躍が望まれます。1月21日『技術者資格の国際的相互承認と APEC エンジニアの創設及び技術士制度改正の要点』の講演会(於九大工学部、西野文雄政策研究大学院大学教授)に続いて、標記研修会は探求心旺盛な会員参加の下、穏やかな熱意と親善友好の交流を深めて終わりました。

日時 平成12年1月29日午後1時～5時

場所 福岡市 パークホテル2Fホール

内容

開会の言葉 川崎迪一 九州支部長  
講演

(1)西田哲学と肥前たぬき踊り

～西田幾多郎と鈴木大拙の足跡を追って～

技術士(建設) 原田 彰 先生

(2)三峽ダムほか中国のプロジェクトと日本技術への期待  
福岡中国領事館 呉 松 科学技術担当領事

(3)三峽ダム現地視察報告

技術士(建設) 清水博和 先生

閉会の言葉 重富秀雄 九州技術士センター会長

○新年パーティー 午後5時10分～7時

司 会 田中穰治 総務委員長

乾 杯 帆足建八 副支部長

『肥前たぬき踊り』披露 原田、清水講師と  
帆足副支部長ほか

特に技術士として関連あるものは、産業廃棄物の処理問題、ゴミ発電、風力発電の問題、微生物による発酵処理の問題などで、これらの問題を技術的に解決すればこれからのビジネスチャンスになるだろうという事であった。

博多三本締め 笠木直行 技術士センター副会長  
「講演の概要」

原田氏は、武雄市のダム工事所長の時、地権者との禅問答から西田哲学と鈴木大拙の仏教思想の継承者を尋ね、執着を捨て、命、土地、山川草木も預かり物、皆と仲良く踊る、多良山系に伝わる8百年の『肥前たぬき踊り』と自己の倫理観を語る。

呉松氏は流暢な日本語で、日本の進んだ技術導入を期待するが、現地に技術を定着、持続発展させる技術人材の育成と、緊密な文化と技術者の交流を望むと。

清水氏は、呉松氏を介し入手した中国文の三峽プロジェクト技術資料5種を家族総力で翻訳、そのエキスを昨年9～10月の現地調査研修成果と、現地研修に同行した、田中穰治氏の漢詩紀行、金光英雄氏の研修余録を加えた九州支部の報告書とビデオ映像を交え講演された。

新年パーティーでは、狸囃しの歌に合わせハッピーとぶら瓢箪で踊る『たぬき踊り』に全員爆笑、『日韓技術士交流会に出せ』の声が上がり、田中委員長は委員会に諮り、厳肅端正に審議すると言明。

帆足副支部長から、今秋の日韓交流シンポジウムは、これから更に全員が知恵と汗を出し、企画内容を充実させアジアに開かれた九州支部に相応しい大会に仕上げて行きたいとの表明がありました。

また2月26日(土)午後、パークホテルで、会員研修会を開催し、九大熱帯農学研究センター矢幡教授から「地球温暖化と森林の役割」佐賀大理工学部岩尾教授から「計測と科学の方法」の充実した2講演を伺いました。また同時に新規第2次試験合格者に対する技術士業務講習会を開き、夕方からは合格祝賀パーティーを盛会の中に挙行いたしました。



### 第二部会見学会

### 福岡市地下鉄3号線 工事現場見学研修会

部会長 清水 博和 (福岡・建設)

昨年来の懸案であった第二部会の地下鉄工事現場見学研修会は、年末年始をさけた1月18日午後2時から実施しました。

福岡市中央区薬院二丁目10番26号の西松・松村・梅林建設工事共同企業体福岡地下鉄出張所に集合し、福岡市の高速鉄道建設事務所の岡崎所長から計画概要のご説明をお伺いした後、地下のナトム工法のトンネル現場を見学しました。

地下水防水工法に厚さ2mmの防水膜を用い、相次

ぐコンクリート剥離の対策として、巻圧50cmのコンクリートにダブル鉄筋を配し、その鉄筋を吊るためにH網を利用するなど、大変苦勞され、トンネルとして前例のない新しい工法に取り組んでいる様子に感心しました。

ついで、地下鉄薬院駅のプラットフォームと駅舎の工事現場を見ましたが、ここでは薬院交差点の真下に当たっているため、地表の沈下の監視などに神経を細かく使っているとのことでした。

山陽新幹線と高速自動車道九州道路の建設のときに、各社が競争で施工を工夫したのを思い起こされて、技術の進歩と、創意工夫に敬意を表した次第です。なお、福岡市の第一工事事務所の古賀所長さんと、現場企業体の出張所の上林副所長さんは技術士の資格を持っておられる方でした。お忙しい中に懇切丁寧に説明していただいて、本当に有り難うございました。厚くお礼申し上げます。



### 事務局員拡充のお知らせ

(社)日本技術士会九州支部、並びに九州技術士センターの事務局では、従来、古賀事務局長がお一人で総ての事務を取り仕切ってこられました。これに(有)九州技術支援センターの事務も加わりまし

たので、事務量が一段と増えてきました。

それで事務局の体制を拡充することになり、2月21日(月)から古賀事務局長の事務補助者として森美保子さんに仕事をしていただいております。業務の担当は経理と庶務で、月曜から金曜までの午後(13:00~17:00)の勤務です。(広報委)



## 地域活動

### 長崎

## ドイツ環境技術視察団報告会

地区代表幹事 山口 和登（応用理学）

2つの最近の活動行事について報告する。

まず、昨年6月に技術士会のメンバーを中心として、ドイツにおける環境施策を視察した『ドイツ環境技術視察団報告会』を、昨年11月27日に長崎市桜町の長崎商工会館で開催した。これはドイツの先進的な環境保護施策の現状について、長崎県内の企業や行政関係者に認識を深めてもらうのが目的で、約120名が聴講した。

視察はドイツのノルトライン・ベストファーレン州のミュールハイム、エッセン、オーバーハウゼンの3市（通称MEO地域）を訪問し、循環型経済社会の構築を推進中のドイツの地方自治と環境産業等の現状について見聞したもので、その報告会は『未来を見据えたドイツ環境行政』と題して行なわれ

た。

報告会では、廃棄物削減やリサイクルの指針を盛り込んだ循環経済廃棄物法の1996年施行など、ドイツの先進的な取り組みや、ドイツの工業地帯汚染地における修復作業、環境思想や環境教育、それらのシステムについて報告を行なった。又、それらを報告書としてまとめ、関係機関に配布した。

次に今年1月28日に諫早市内で行なった新年研修会について報告する。新年研修会は、長崎地区の技術士約25名が出席し、長崎大学環境科学部の石崎教授（工学博士、技術士）より、「環境に優しいトイレの話」として、技術的、環境科学的に意味深い話を聞き、「たかがトイレ、されどトイレ」と認識を新たにした。

研修会終了後、今後の支部及び地区行事予定等の事務連絡を行ない、最後に同ホテル内で恒例の新年会を催し、石崎先生を始め、メンバーの自己紹介、近況報告など和やかな雰囲気の中、約4時間の予定が瞬く間に過ぎ、次回の会合を約して散会となった。

### 熊本

## 熊本県の技術士活動について

地区代表幹事 林 博昭（農業）

熊本県には、(社)日本技術士会九州支部に所属する熊本地区と、(社)日本技術士会本部の業務委員会に所属する熊本技術センター、そのいずれにも所属しない熊本県技術士会の3つの組織がある。

熊本地区は、技術士の地位向上や技術士制度の普及啓発等の一般的な活動を行い、熊本技術センターは、地域におけるいろいろな課題を独自に研究し、県などの行政機関に提言する活動を行っている。また、熊本県技術士会は、未登録も含めて技術士並びに技術士補で構成し、名簿の配布や親睦を深める交流会などを行っている。

それぞれ組織の世話役は、ほとんど重複しているため、技術士活動を行う上で何ら支障はなく、これからも3者一体で運営していくつもりである。

なお、平成11年度までの研究は次の通りである。

- 九州国際空港に関する研究
- 地球温暖化に伴う海面上昇と有明海・八代海沿岸の多目的潮受堤構想の研究
- 液化化が高い地質（熊本市）の分布特性に関する研究（熊本大学地域共同研究）

これらの成果については、熊本技術センター情報誌としてまとめ、毎年1回～2回（A4版カラー刷り・120～150ページ）出版している。

また、有明海・八代海沿岸の多目的潮受堤構想については、沿岸に住む人たちに「21世紀のくにつくり地域づくり—飛躍する環有明海・八代海へ向けて—」と題してシンポジウムを開き、その時、基調講演を頂いた参議院議員・佐藤昭郎先生が、国会の決算委員会において地球温暖化に関して質問をされ、答弁にたった建設省の河川局長は「海面上昇については国土保全上極めて重要な課題として認識しており、長期的な視点にたった対策を関係省庁と協力して検討していく」と説明されている。なお、質問にあたって佐藤議員は、「日本技術士会の熊本地区というNGO組織が独自に研究されたもの」として紹介された。

## 北九州

### 3 項の活動方針

地区代表幹事 泉館 昭雄（電気・電子）

地域活動に係る当地区の活動方針は、下記三項です。

- イ. 地域に密着した活動
- ロ. 活動の広域化
- ハ. 支部本部との連携

ここ半年の独立技術士及び企業内技術士は、多忙でした。殊に企業での一定の経験と実績を持っている独立技術士は“ヤル気”があれば、目一杯の“業”でした。

当地区に限定した場合の独立技術士の活動の場は以下の4箇所です。

- a. 北九州テクノセンター TS 会（20名程度）
- b. 北九州国際技術協力会（10名程度）
- c. 北九州市役所、北九州商工会議所
- d. 民間企業

a と b が活動の主体で、d は、コンサル業務です。

a の活動は、国・県・市の中小企業施策を現場で

対応するもので、企業代表者や、大学・公設試の研究者と直接会い、技術指導、NEEDS、SEEDS 調査等をします。課題は2点あり、一点目は報酬金額が低い事、二点目は企業 OB として認知され技術士として認知されていない事です。

b の活動は技術士に相応しい内容、報酬額です。対応する技術士数が減っていることが気になります。

以上の案件は、当該機関から各技術士に個別に要請されており、地区は関与していません。

当地区は、月例技術研修会を毎月行っており、昨年9月から月刊“技術士”行事予定欄で予告しています。紙面の都合で技術報告件名、先生をご紹介できないのは残念です。HOME PAGE を参照下さい。

月例技術研修会は、地区活動力の源泉と位置付けしております。

前記ロ、広域化、ハ、支部・本部との連携業務開発を、支部業務開発委員会の方針にそい、技術士・会の責務である業務を具体化しつつある所です。当地区を越えた、工学鑑定（7件）、技術評価（1件）、企業指導（4件）、アドバイザー業務（1件）を始めました。技術士・会に対する時代の要請に形に応えようと皆様のご支援、ご指導を期待しております。

## 宮崎

### 共催事業の支援活動

地区代表幹事 新城 精一（建設）

以前、新聞紙上で“技術士の名義借り”の件が大きく取りあげられ、問題になったことがありました。「県が登録を義務づけているから業者は違反承知で名義借りをしているのだ」という主旨の記事でした。そのことでおわかりのように、宮崎県では九州で唯一、登録制度が実施されているのです。

職業法や登録即入会は技術士会の最大のテーマでした。「登録制度」によって登録部門の技術士は職業法に近い恩恵を受けるようになりましたが、県レベルまでは至らなかったようです。しかし、宮崎県では10年以上も前から実施されてきたのです。ただ、残念なことに、新聞での指摘のように名義借りの登録が多いせいか、登録者、登録業者とも九州では福岡について多いという、県の規模からしては不自然

なことがおこっているのです。

県の登録制度の影響もあって、宮崎地区では、登録部門や企業内の技術士が多く、活動としては、支部・センターや共催事業の支援活動が主体になっており、その他は、懇親会や研修会を実施しているにすぎません。

最近では、各地区とも独自性を打ち出し、活発な活動を展開しておりますが、宮崎でも10年前に「センター県支部」から「県技術士会」へと衣替えをして活動してきましたが、逆に支部・センターへの一本化の方向に進んでいるような気がします。

当初、名簿を作成していましたが、加入率が高くなるにつれて支部・センター名簿で不便を感じなくなりましたし、また、活動が懇親会、研修会が中心ですので、日常の運営費は補助金で十分まかなえるのです。

このように、二重に負担をかけることがないので、支部・センターへの入会が勧めやすいし、また、会員、賛助会員が増えれば補助金も増えますので運営が楽になるというメリットもあるのです。



## I 地下水雑学

九州支部大分県協会 室之園 泰昭 (大分・建設)

近年、おいしい水を求める傾向が広まり、「○○の水」と記した鉱水をスーパーや宅配便で求める人は多い。自宅に居て全国の名水が味わえるのだから……。

なにしろ、この名水は1ℓ当りガソリンより高くても愛飲者が多いのは、水道水等がおいしくないと思っている人が多いためと思う。

水、ガソリン共に有限の資源であるにもかかわらず、水は無限にあると思っている人が多いのも事実である。

私達は「地下水は有限の公共物である」という意識を広めていく責任もあると思っている。私は仕事上、地下水とのつきあいは35年以上になるが、いまだに地下水の性状を把握しきれずにおり、現在も水の生命に少しでも近づこうと努めている。

名水は山岳部の岩層に含まれる成分(石英等)を浸透した水がほどよい硬度のミネラル分を含む水と定義されているものもあるが、私は硬度、ナトリウム、カルシウム、カリウム等が一定量でも含まれた軟水でおいしければ「名水」と呼んでいる。その産地は問わないことにしている。

仕事から“名水を探して”との依頼もある。名水とはどんな水ですか?と聞くと、おいしくて、量があり、交通の便の良い所で湧出する水と答える。もちろん依頼者は水で商売をしようという人達である。

最近、若い技術者から“地下水探査を実施しその有望地点を試掘したら水が出なかった。探査は当たるも……、当たらずも……”という迷言をよく聞く。

私自身もこうした体験は多く経験している。このような時には「探査機器の原理をよく勉強してみなさい。探査機類は地下の比抵抗や分極値等の地下情報を表示してくれているだけです。地下水と地質(特に粘土、金属鉱物)の区分は君達が総合的に判断して有望地帯を選別するのですよ」と答えている。

最近、パソコン等の周辺機器の発達で地下情報が目視化されるようになり、地下水帯や温泉帯が表示される機器もあるが、自分の水理地質論と併せて解析しないと、前述の迷言になるのである。

以下私の体験した「水かけ論」について記す。

ある役場より簡易水道水源探しを依頼され、出向した所、実は3ヶ所試掘地点を選定してあるという。聞くと、水源探しに有名な「祈祷師」を呼んで現場を廻って3ヶ所決定したとのこと、更に驚いたことには各地点の深度、水量(ℓ単位)までも記載されていた。

給水実施計画に当り「この祈祷結果」を県当局に提出したら、電気探査を実施しなさいと言われたとのことであった。

現場踏査の結果、電探予定地点を3点決めたが、この内2ヶ所は祈祷師先生の選定地点と一致していた。この3地点で電気探査を実施してその結果で試掘地点を選定したところ、くしくも祈祷師先生の選定地と同じ場所となった。そして試掘の結果、Q=250ℓ/分の水量を確保出来たが、水量が神様の予定水量より100ℓ位増量であったことが救いとなった。

これ以来、神頼みも時には必要と思う心境になった。

地下水に関する裁判についての「水かけ論」を記す。

民間発注の深井戸工事で、水質(濁度)が不適のために施主は工事金は全額支払わぬと主張したので、工事代金支払を求め、原告として裁判をした。公判では工事者当方は設計仕様書通りに施工しており、水質、水量等はその結果の二次的なもので責任はないと主張した。施主側は専門業者に発注したのに掘削途中で水質の調査確認が不適切であった。業者の契約不履行に当たると主張し、4年間争った。

裁判長は、専門業者は水質の良悪、水の有無を注意深く留意して、良質の水、帯水層を正確に確認して目的を達成する義務がある。さらに裁判は弱者救済の前提に行なわれているとのこと。どのような契約をすればこのような問題は発生しないかと聞くと、契約条件に、「水質、水量は一切補償しません」



と記入する必要があるとのこと。これでは契約する  
施主はいない。

結果は裁判長の強権発動で工事金半額の和解と  
なった。

## Ⅱ 私 の 転 機

平成5年の暮れ、わが家に大事件がおきました。  
地区の育成会の会長に選出されたのです。その日  
は、仕事で11時ごろ帰宅しましたが、地区の話合い  
に出かけた妻はまだ帰っていません。食事を取って  
いると、12時すぎに帰ってきた妻の第一声『くじ引  
きで、当たった』とのこと。聞くと、それまでの育成  
会の会長は地元の農家の方がやられており、今度は  
新興住宅地の方から出してほしいとの要望があり、  
くじ引きになった模様でした。

それから半年は i) 入り組んだ地区境の把握, ii)  
約220名の小中学生の班ごとの区分と各家の把握,  
iii) 行事の際の地元の役員さん、長老の方々への連  
絡相談の仕方の把握、等育成会の輪郭をつかむので  
精一杯でした。特に伝承芸能の練習では、約50人の  
小学生を2時間余り、叱っては、鼓や太鼓につかせる  
のがやっとでした。

しかし、いつも練習では、騒ぎ回っている（私が  
そう感じていた）こどもたちが、披露の際、挨拶から  
演奏そして挨拶まで、最高の出来を示したのです。  
真剣で純粋な姿に、熱いものを感じました。

この披露をきっかけに、育成会に対する義務感は  
薄れ、子どもたちを介して、地元の農家の方々、長  
老の方々とも、屈託のない付き合いが出来るようにな  
り、いつしか、飲み方の場では、地元の歴史をうか  
がったり、地域の将来像について議論したり、浮立  
の練習では、休憩時間に6年生が1年生を肩車して  
遊ぶ姿を微笑ましく思えるようになりました。

また、老人クラブや役員の方々の、天神祭しめ縄  
づくり、もぐら叩き、もちつき、などの準備の際、  
笑顔で子どもたちに接される中にいて、何らかの形  
で、今後も地域に貢献したいとの思いも高まって来  
ました。

そして、そんな気持ちの高まりの中、平成8年に、  
3年間断念していた技術士2次試験の6回目の挑戦  
をし合格しました。その答案の骨子は口頭試験まで  
一貫して「地域貢献」であり、地域貢献の芽を育ん

今後、地下水を専門とする若い技術者は現場体験  
を数多くこなし、各種の地下水と対面した上で探査  
器に向って欲しい。地下から送られてくるデータが  
何であるのかが判断出来るようになると思う。

### 宮副 一之（佐賀・建設）

でくれた育成会に参加できて本当に幸せだったと  
思っています。

現在、当地では、宅地化が進み、クリークの水質  
の悪化（下水道整備はまだです）、ペットの糞処理の  
マナー悪化、通勤時の抜け道の渋滞、等地元の方々  
や農作業へ迷惑がかかってきています。ややもする  
と、このような問題が地元の方々と新入居者との間  
に対立を生じさせる危険性があるという話を伺うこ  
とが多くなってきました。『昔は、ようフナ、コイの  
とれよったもんねー』という言葉にたいしては、私  
も小さいころ魚つりを楽しんだ思い出があり、肩身  
がせまい思いがします。

しかし、下水道の整備を心待ちにしながら、年に  
1回のクリーク清掃では、その心持ちをこめて頑張  
るようにしています。ペットの糞処理に関しては、  
再三農家の方から、農道脇の畦の糞に迷惑している  
との話が上がっていましたが、ある日、ペットの飼  
い主にたいする『糞入れを持って散歩に出かけよう』  
のカンバンが立ち、私も毎朝の散歩では、呼か  
けを実行しています。

通勤時の抜け道の渋滞については、当道が通学路  
となっており、児童が危険にさらされています。地  
元では、育成会による学童の横断時の誘導や安全運  
転のピラ配りが行われていますが、危険は緩和され  
ていません。私は道路計画技術者として、通学路の  
動線も含めた安全策や、一方通行や標識設置等の交  
通規制の提案、等を地元区長さんと一緒に行いたい  
と考えています。

浮立の子供たちが気づかせてくれた、地元貢献の  
芽は、私自身の“いきがい”や“幸福”の観点をも  
変えさせてくれながら膨らみ始めています。

私にとって、育成会長のくじに当たったことは、単  
にわが家の大事件ということから、私の人生の転機  
となりました。1/30の狭き当選くじを引き当てた  
妻に感謝！

「技術士だより」で環境「カウンセラー」と労働安全（衛生）「コンサルタント」について紹介しましたが、昨年も多数の会員技術士の方が上記の試験にチャレンジされました。若し、この記述が皆さんの動機付けに何らかのお役に立つのなら嬉しく思います。

今回は、国が中小企業の総合「コンサルタント」として認めている2資格の内、技術士と双璧の、

**中小企業診断士**（中小企業庁）

の試験について述べたいと思います。

**§ 1. 中小企業診断士の概要**

現在、中小企業診断士の登録者数は15,657名（平成11年4月現在）で、鉱工業・商業・情報の三部門があります。その内、我々技術士と業務上の競合関係となる工鉱業4,682名（29.9%）情報1,384名（8.8%）で、彼等には経営に関する該博な知識と、業界団体や経済団体、地場産業等に比較的大きなパイプを持つのが強みです。

**§ 2. 受験資格と試験内容**

受験資格は年齢、性別、学歴は問いません。試験は一次・二次・実習の三段階に別れ、一次試験に合格しなければ二次以降の試験は受けられません。一次試験の合格資格は永久に有効ですが、二次試験の合格資格はその年限りで、合格に引続き実習（10日間）を受け、報告書を提出せねば意味がありません。

(1)一次試験（商業部門は省略）

	工鉱業部門	情報部門
共通科目	① 経営基本管理 ② 財務管理 ③ 販売管理 ④ 労務管理	
専門科目	⑤工鉱業に関する経済知識 ⑥生産管理 ⑦資材及び購買管理 ⑧工鉱業技術に関する基礎知識	⑤情報に関する経済知識 ⑥経営情報管理 ⑦情報システム ⑧情報技術に関する基礎知識

試験は五肢選択・穴埋め・（記述）短答・計算問題等何でもありです。平均60点以上が合格で1科目

でも40点以下があれば失格です。試験は午前2科目、午後2科目で2日に渡って行なわれます。

一次の合格率は、工鉱業部門16~17%、情報部門で18%前後です。

(2)二次試験

論文形式で、与えられた事例に対し何処に問題があるか、どう改善すれば良いかを答えます。

事例問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲがあり、内容に明確な区別はありませんが大雑把に経営全体、技術関連、財務関連の三分野の問題に分かれ、それぞれの観点から改善を論ずるものです。対受験者合格率は概略20%程度。

**§ 3. 試験免除科目と技術士**

公認会計士と税理士には②「財務管理」、技術士には⑧「工鉱業技術に関する基礎知識」、又は「情報技術に関する基礎知識」が免除になります。なお、経営工学の技術士には⑥「生産管理」も免除されます。

八科目ある中で技術系の受験者の半数が②か⑧で失敗すると言われています。特に⑧は化学・機械・冶金・力学・光学と範囲が広いので並大抵の勉強では間に合いません。この点、技術士は免除なので有利です。②は殆どが計算問題で、財務計算のルールさえ知っておれば逆に点を稼げる科目になります。

**§ 4. 試験日程**

- 5月上旬～6月下旬頃 一次試験願書受付
- 8月上旬 一次試験（札幌、東京、名古屋、大阪、福岡）
- 9月上旬～中旬 一次試験合格者発表
- 9月中旬～下旬 二次試験願書受付
- 10月中旬 二次試験（東京、大阪）
- 12月下旬 二次試験全格者発表
- 1月中旬 実習（4～5名で班を作り2ヶ所）
- 2月上旬 合格者発表（官報に記載）

**§ 5. 蛇足**

技術士で中小企業診断士の免許を所有している方は100名前後と推定します。九州では5名を確認しています。九州における中小企業診断士の登録者数は919名（鉱工業：279、情報：62、商業：残り）です。

受験参考書、通信教育に関する相談は筆者まで。

文責：田中（経営工学）092-523-2624

おめでとうございます 平成11年度技術士第一次・第二次試験合格者（福岡会場）

☆第二次試験〔技術士〕（平成12年2月9日発表）

<b>機械部門</b>	陣内 龍太郎	渡辺 晴明	山崎 晴彦	内田 導博	田中 公博
(鉄道車両 及び自動車)	高村 透	田中 誠	若林 祐一郎	吉田 直紹	菊谷 久嗣
田辺 努	内田 賢司	羽生 誠一郎	藤島 義久	軸丸 英顕	西村 修
(機械設備)	才竹 正志	(河川, 砂防 及び海岸)	近藤 薫	藤尾 保幸	清瀬 秀敏
岩永 英樹	水野 宏二	加治屋 義信	吉住 透	森 正明	片山 彰
森田 秀則	宇都 洋一	関沢 元治	乾 晃義	南嶋 佳典	吉谷 盛雄
	甲斐 伸一	松原 孝司	小谷中 育夫	(鉄道)	宮原 孝平
	(鋼構造及び コンクリート)	奥山 壽徳	山本 和幸	中村 和仁	(建設環境)
<b>電気・電子部門</b>	日高 重人	久保田 昇助	立山 耕造	津高 守	田中 勇一
(発送配変電)	武藤 常陽	遠田 勝美	塩満 利昭	栗崎 博文	澤田 芳夫
平石 育典	石松 利視	野田 善治	古谷 健	(トンネル)	赤澤 有二
(電気応用)	西川 佳祐	三浦 昶	黒田 勝良	北村 康彦	野々下 寛
日高 亮太	大櫃 宣弘	秀徳 典穂	内山 省三	西村 友彦	矢野 友一郎
	野上 和彦	黒木 修身	須股 幸信	中村 正雄	古賀 忠直
<b>化学部門</b>	山根 誠一	古賀 勝利	石橋 賢一	小林 一士	三石 真也
(セラミックス 及び無機化学 製品)	岩下 智彦	河室 雄幸	松尾 勝也	(施工計画, 施工 設備及び積算)	房前 和朋
川崎 卓	村井 洋行	松崎 宏文	木許 卓郎	岡部 徳明	井芹 寧
	田添 耕治	田中 豊	北岡 大記	奥村 勝	岩本 浩
	田野 慎一郎	執行 孝幸	浅田 敏光	義原 孝文	阪田 和弘
	愛敬 圭二	福山 博親	北原 毅	藤井 憲彦	友納 敏
<b>繊維部門</b>	林 利昌	岩男 道也	市原 充之	塩足 弘喜	山田 伸雄
(紡糸, 製糸, 紡績及び製布)	青龍 靖則	北栄 雅人	熊谷 義次	松井 秀一	<b>水道部門</b>
真鍋 征一	吉田 秀雄	佐藤 和夫	安原 秀夫		
	財津 公明	平野 宗夫			
	青木 芳夫	和田 芳樹			
<b>金属部門</b>	今門 益雄	吉良 文至			
(金属材料)	鐘 廣喜	川内 俊英			
小林 一三	瀧口 将志	(港湾及び空港)			
(表面技術)	(都市及び 地方計画)	山波 博明			
坂田 一則	佐藤 信吾	(電力土木)			
	久田 幹夫	(道路)			
<b>建設部門</b>	赤星 文生	川添 正寿			
(土質及び基礎)	原井 正	中村 健			
上保 繁幸	川原 行夫	大塚 正道			
柴山 修一	松永 信弘	白土 泰樹			
井口 公一	向後 美明				
田尻 雅則					

平成11年度技術士第二次試験結果

区 分		全 国	福 岡
受験申込者数 (A)		34,183名	2,790名
筆記試験 受験者数	受験者数 (B)	18,887名	1,393名
	棄権者数 (C)	3,144名	208名
	計 (D)	22,031名	1,601名
筆記試験合格者数 (E)		3,221名	221名
口頭試験受験者数 (F)		3,216名	221名
口頭試験合格者数 (G)		2,942名	210名
受験申込者に対する合格率 (G/A)		8.6%	7.5%
筆記試験受験者に対する合格率 (G/B)		15.6%	15.1%



(上水道及び 工業用水道)	(水質管理) 黒岩 和博	喜多 正宣 福島 尚之	谷之木 清信 後藤 正夫	工藤 勝宏 (水産土木)	香月 裕宣 徳田 充樹
松原 好直	(空気調和施設)	平川 貴	西元 勇	黒川 陽一	黒木 久達
松尾 元春	黒木 俊二	西岡 静夫	(農村環境)	今井 昌之	葭谷 武司
梁木 英寿	因 治彦	星野 清治	國弘 実		武末 茂
(下水道)	平山 一敏	藤本 栄治		<u>情報工学部門</u>	岩田 昭夫
義経 俊二	(廃棄物管理計画)	吉良 保生	<u>林業部門</u>	(情報システム)	
吉田 紳治	西村 義之	津田 幸徳	(林業)	梶原 宏一郎	<u>環境部門</u>
迫田 茂実	吉田 伸隆	大澤 敏彦	大坪 貞保	久富 浩明	(環境保全計画)
八尋 秀喜		谷富 弘幸	(森林土木)		馬場崎 正博
西橋 和男	<u>農業部門</u>	藤村 幹治	中尾 五十三	<u>応用理学部門</u>	越智 信雄
松野 幹也	(農業土木)	杉永 富輝	安藤 宇一	(物理及び化学)	(環境測定)
高木 誠	長 忠信	門松 経久	山部 末二	前田 俊秀	大崎 靖彦
田尻 英樹	大塚 祐治	渡邊 紘三	大坪 弘幸	(地質)	郡 正俊
無津呂 雄二	原田 定幸	中村 義文		明代 達也	(自然環境保全)
	湯浅 徹	桑畑 俊郎	<u>水産部門</u>	岩内 明子	須藤 智典
<u>衛生工学部門</u>	佐藤 洋	吉岡 英雄	(漁業及び増養殖)	井上 道則	逆瀬川 和典

☆第一次試験〔技術士補〕(平成11年12月21日発表)

<u>電気・電子部門</u>	穴井 解	瀬原 洋一	清川 厚史	安場 敦志	坂本 曜次朗
森永 省二	大塚 正	花岡 健二	堀田 諭	松尾 昭彦	満安 政幸
徳岡 順治	姜 誠	林田 大	梶尾 辰史		
木塚 正明	谷口 慎一	井手 淳一	高山 淳一	<u>水道部門</u>	<u>衛生工学部門</u>
大邊 和馬	朝隈 竜也	木元 秀満	高崎 秀一	手金 浩嗣	柿本 大典
	森下 泰	中村 浩輔	横田 康行	境 博孝	黒木 征一朗
<u>化学部門</u>	湯野 孝	草場 敏宏	山口 賢二	尾塚 卓司	稲垣 義一
新保 嘉英	住吉 武志	稗田 吉伴	小林 孝	浅野 智晴	
吉岡 可奈子	立田 由美	三浦 秀晃			
	村山 貴裕	中村 一樹			
<u>建設部門</u>	福留 健一	古賀 郁子			
森口 奈々子	山田 康貴	猿木 広一郎			
田村 淳	矢代 まゆみ	高井 勉			
高橋 修三	高橋 亮介	渡邊 一			
吉永 誠二	高瀬 智	岡下 高広			
井上 篤	太田 有一	永留 健			
大木 政春	空 かおり	小林 清文			
大崎 清文	柚木脇 政浩	和泉 博之			
今村 秀秋	前田 良幸	禿 和英			
中山 尚	碓 正敬	宮地 岳志			
佐々木 浩之	徳吉 弘樹	湯浅 忠			

平成11年度技術士第一次試験結果

		全 国	福 岡
受験申込者数 (A)		13,316 人	1,240 人
受験者数	受験者数 (B)	8,973 人	835 人
	棄権者数 (C)	434 人	38 人
	計 (D)	9,407 人	873 人
合格者数 (E)		1,491 人	108 人
申込者数に対する合格率 E/A		11.2 %	8.7 %
受験者数に対する合格率 E/B		16.6 %	12.9 %

<b>農業部門</b>	<b>林業部門</b>	<b>応用理学部門</b>	石原 智之	<b>生物工学部門</b>	竹之内 直美
石川 将之	佐藤 亜貴夫	熊本 智之	片山 健市	緒方 貴宏	仁木 佳男
酒見 和義		松下 弘樹	下柿元めぐみ	音辻 美希子	塚脇 博夫
井野 秀義	<b>水産部門</b>	橋本 誠	児玉 浩		藤原 佐保子
菊次 篤志	伊藤 龍星	瀬口 貴光	金子 吾朗	<b>環境部門</b>	入佐 英紀
芦谷 奈美	松田 英人	稲倉 寛仁		下山 健吾	古谷 泰英
	永井 晶子	伊藤 実		末津 和典	助川 直人

## 会員ニュース

### ☆(社)日本技術士会(九州支部)入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(部門)	(上段:連絡先/下段:勤務先) ＜連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ＞	☎・FAX
福岡	正会員	川崎 邦俊	電気電子	〒819-0002 福岡市西区姪浜4-19-5-703 勤:(株)関電工九州支社	☎(092)413-7311 FAX(092)413-2315
大分	正会員	山川 純雄	建設	〒871-0057 中津市三ノ丁1300-1 サーパス中津城内508号 勤:大洋測量設計(株)	☎・FAX(0979)26-1417 ☎(0979)32-4234
福岡	正会員	今泉 七郎	建設	〒811-2113 福岡県粕屋郡須恵町須恵538-17 勤:アジアエンジニアリング(株)	☎(092)934-2406 FAX(092)553-8221
福岡	正会員	古川 好徳	水道	〒811-2115 福岡県粕屋郡須恵町佐谷1719-32 勤:アジアエンジニアリング(株)	☎(092)933-0206 FAX(092)553-8221
福岡	正会員	武本 英治	建設	〒814-0032 福岡市早良区小田部2-10-20 勤:アジアエンジニアリング(株)	☎(092)831-7577 FAX(092)553-8221
福岡	正会員	築城 永	建設	〒810-0054 福岡市中央区今川1-25-18-502 勤:アジアエンジニアリング(株)	☎(092)741-2737 FAX(092)741-2756 ☎(092)553-2800 FAX(092)553-8221
北九州	正会員	是永 逸生	機械	〒808-0017 北九州市若松区東小石町17-1 勤:日立金属(株)若松工場	☎・FAX(093)751-0865 ☎(093)761-5135 FAX(093)751-7242
大分	正会員	二宮 和生	水道・衛生工学	〒874-0917 別府市中須賀東町3-1 シーニック201号 勤:二宮技術士事務所	☎・FAX(0977)66-4042
宮崎	正会員	前田 剛志	建設	〒880-0053 宮崎市神宮1丁目192 ヴェルデ神宮参道901号 勤:パシフィックコンサルタンツ(株)宮崎技術部	☎(0985)31-2439 ☎(0985)30-5360 FAX(0985)30-5361

### ☆九州技術士センター 入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(部門)	(上段:連絡先/下段:勤務先) ＜連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ＞	☎
福岡	正会員	山本 富業	建設	〒815-0083 福岡市南区高宮4-21-20 高宮ハウス A 棟102 勤:前田道路(株)九州支店	☎(092)531-1131 ☎(092)411-9421

### ☆会員連絡先(住所)及び勤務先変更

(地区)	(区分)	(氏名)	(部門)	(変更)	☎・FAX
福岡	正会員	今西 肇	建設	勤:〒810-0074 福岡市中央区大手門3-5-1 大手門第一法規ビル5F 九州地盤環境研究所	☎(092)762-8650 FAX(092)726-3877
福岡	正会員	横山 健治	建設	勤:〒811-2205 福岡県粕屋郡志免町大字別府724-7 マルタニ試工(株)	☎(092)935-1247 FAX(092)935-2025
佐賀	正会員	森 勝義	建設	勤:〒849-0922 佐賀市高木瀬東2丁目16番35号 建設省嘉瀬川ダム工事事務所	☎(0952)33-1360 FAX(0952)33-9887
北九州	正会員	沖部 俊昭	経営工学	勤:〒809-0034 中間市大字中間7177 アリコペール102号 OK 技術士労働安全コンサルタント事務所	☎・FAX(093)246-3366
福岡	正会員	船本 憲治	建設	勤:〒863-2504 熊本県天草郡苓北町年柄字苓陽1091 九州電力(株)苓北発電所	☎(0969)35-2956 FAX(0969)35-2958
福岡	正会員	甲斐 良徳	建設	連:〒810-0075 福岡市中央区港2丁目5-3-1401 勤:〒812-0043 福岡市博多区堅粕1丁目28-44 ライト工業(株)九州支店	☎・FAX(092)741-4335 ☎(092)651-4331 FAX(092)641-4199

佐賀	正会員	樋渡 常右	農 業	勤：〒848-0028 伊万里市脇田町1407 樋渡技術士事務所	☎(0955)20-1677 FAX(0955)20-1678
福岡	正会員	山口 啓志	機 械	勤：〒810-0041 福岡市中央区大名2-5-31 福岡市交通局車輛課	☎(092)732-4223 FAX(092)732-4244
大分	正会員	田口 修		連：〒870-1118 大分市高江南2-10-3	☎・FAX(097)596-7773
福岡	正会員	脇山 卓雄		勤：〒819-0373 福岡市西区周船寺3丁目26-65 日光建設(株)	☎(092)806-8889
長崎	正会員	柏原公二郎	応用理学	勤：〒859-3223 佐世保市広田3丁目16-16 柏原地質研究所	☎・FAX(0956)38-6576
北九州	正会員	園田 敏勝	電気電子	勤：〒820-8555 飯塚市柏の森11-6 近畿大学九州工学部電気情報工学科	内線253 ☎(0948)22-5659 FAX(0948)29-8936
福岡	正会員	田代 利明	建 設	勤：〒810-0016 福岡市中央区平和3-18-12-302 田代技術士事務所	☎・FAX(092)522-9736
長崎	正会員	井上 嘉郎	農 業	勤：〒852-8134 長崎市大橋町22-14 豊福設計(株)長崎支社	☎(095)845-2925 FAX(095)847-2437
北九州	正会員	野村 利則	情報工学	勤：〒810-8639 福岡市中央区那の津2-1-12 (株)ベスト電器	☎(092)752-3941 FAX(092)771-5833
福岡	正会員	平島 稔	電気電子	勤：〒810-0041 福岡市中央区大名2-5-31 福岡市交通局施設部車輛課	☎(092)732-4224 FAX(092)732-4244
福岡	正会員	津崎 博美	建 設	連：〒818-0034 筑紫野市美しが丘南6-4-208	
北九州	正会員	本田 整	金 属	勤：〒807-0874 北九州市八幡西区大浦3-7-12 本田技術士事務所	☎・FAX(093)603-6057
鹿児島	正会員	上野 敏孝	建 設	勤：〒895-0012 川内市平佐町2426-6 山口ハイッ	☎(0996)22-4686
鹿児島	正会員	福島 正三	建 設	連：〒892-0851 鹿児島市上竜尾町34-13	
宮崎	正会員	川窪 一郎	環 境	勤：〒870-0852 大分市大字奥田646-1 西日本コンサルタント(株)	☎(097)543-1818 FAX(097)543-8667
福岡	準会員	水沼 道博	建 設	勤：〒810-0075 福岡市東区箱崎1丁目27-22-1204	
福岡	正会員	無津呂英亮	建 設	勤：〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1 西日本技術開発(株)	☎(092)781-4616 FAX(092)781-9160
長崎	正会員	斎藤 孝	建 設	勤：〒857-0133 佐世保市矢峰町90-4 (株)産研九州	☎(0956)49-5577 FAX(0956)49-4477
福岡	正会員	阿部 利行	建 設	勤：〒813-0093 福岡市東区名島5-4-8 (株)建設技術コンサルタンツ	☎(092)671-2451
北九州	正会員	是永 逸生	機 械	勤：〒808-0023 北九州市若松区北浜1-9-1 日立金属(株)若松工場内 (株)若松テクノサービス	☎(093)761-4490 FAX(093)771-5805

## 業務報告

支部業務開発委員会に照会があり、対応決定した案件はつぎの通り。(H11/11~H12/2)

〔依頼元〕	〔件名〕	支部業務開発委員会	
		〔対応人数〕	〔実施期日〕
1) 中小企業総合事業団	ベンチャー総合支援センター常設アドバイザー	2名	2, 3月
2) 福岡県商工会連合会	技術強化支援事業に係わるエキスパート派遣	2名	2月
3) 福岡県企業振興公社	中小企業開発新製品評価委員派遣	5名	2/17
4) 福岡県企業振興公社	中小企業経営, 技術診断, 20日間	1名	2月
5) 本部業務幹旋委員会	工学鑑定・温泉温度低下調査	1名	2月
6) 損害保険会社	工学鑑定・マンション階段崩落調査	3名	11, 12月
7) 飯塚研究開発機構	技術調査	2名	2, 3月
8) 本部業務幹旋委員会	工学鑑定・ジーゼル発電機事故	2名	2月
9) 福岡県企業振興公社	ミキサー開発指導	1名	2, 3月
10) 中小企業総合事業団	介護機器開発指導	1名	3月
11) 損害保険会社	工学鑑定・金魚弊死事故	3名	2月

なお、これらの照会には、支部として組織的、総合的に対応するように努める。



## 御協力いただいている 賛 助 会 員

### 〔福岡〕

(株)久栄総合コンサルタント  
 日本航測(株)  
 (株)建設環境研究所  
 (株)唯設計事務所  
 日本建設コンサルタント(株)九州支店  
 中央開発(株)九州事業部  
 (株)ダイヤコンサルタント西日本支社  
 福岡支店  
 日本工営(株)福岡支店  
 昭和地下工業(株)  
 第一復建(株)  
 (株)松本組  
 (株)エスケイエンジニアリング  
 (株)東亜コンサルタント  
 (株)福山コンサルタント  
 (株)東京建設コンサルタント九州支店  
 東亜建設技術(株)  
 精巧測量(株)福岡支店  
 東邦地下工機(株)  
 大成ジオテック(株)  
 末永コンサルタント(株)  
 富洋設計(株)九州支社  
 九州建設コンサルタント(株)福岡支店  
 応用地質(株)九州支社  
 日本海洋コンサルタント(株)  
 九州事務所  
 (株)サンコンサル  
 芳野測量設計(株)  
 (株)橋梁コンサルタント福岡支社  
 (株)アイ・エヌ・エー九州支社  
 (株)九州地質コンサルタント  
 (株)タイヨー設計  
 三井共同建設コンサルタント(株)  
 九州支社  
 日鉄鉱山コンサルタント(株)九州支店  
 (株)大建  
 (株)エム・ケー・コンサルタント  
 (株)エス・ピー・エンジニアリング  
 (株)アジア建設コンサルタント  
 新地研工業(株)  
 (株)カミナガ  
 (株)構造技術センター  
 平和測量設計(株)  
 基礎地盤コンサルタント(株)九州支社  
 (株)高崎総合コンサルタント  
 西日本コントラクト(株)

西鉄シーイーコンサルタント(株)  
 町田電気管理・技術士事務所  
 日本地研(株)  
 第一設計(株)  
 九州環境技術研究所  
 西日本技術開発(株)  
 (株)富士ピーエス  
 日本技術開発(株)

### 〔北九州〕

(株)吾水総合コンサルタント  
 九和設計(株)  
 (株)都市開発コンサルタント  
 九州テクノリサーチ(株)  
 第一復建(株)北九州事務所  
 (株)松尾設計  
 (株)酒見設計  
 (株)太平設計  
 冷牟田設計コンサルタント(株)  
 山九(株)鉄鋼事業本部鉄鋼技術部  
 (株)日鉄エレックス  
 (株)安川電機  
 (株)中村測建

### 〔佐賀〕

(株)精工コンサルタント  
 新九州測量設計(株)  
 日本建設技術(株)  
 (株)九州構造設計  
 西日本総合コンサルタント(株)  
 新栄地研(株)  
 フジコンサルタント(株)  
 九州技術開発(株)

### 〔長崎〕

大栄開発(株)  
 (株)実光測量設計  
 西日本菱重興産(株)  
 太洋技研(株)  
 (株)親和テクノ  
 扇精光(株)  
 西海地研(株)

### 〔熊本〕

(株)九州開発エンジニアリング

### 〔大分〕

佐伯調査測量設計(株)  
 松本技術コンサルタント(株)  
 協同エンジニアリング(株)  
 (株)日建コンサルタント  
 東亜コンサルタント(株)

(株)テクノコンサルタント  
 南海測量設計(株)  
 九州特殊土木(株)  
 大洋測量設計(株)  
 九州建設コンサルタント(株)  
 西日本コンサルタント(株)  
 南武測量設計(株)  
 東洋測量設計(株)  
 九建設計(株)  
 日進コンサルタント(株)

### 〔宮崎〕

(株)弓場水工コンサルタント  
 (株)ケイディエム  
 (株)国土地質調査事務所  
 南日本総合コンサルタント(株)  
 (株)宮崎産業開発  
 (株)西田技術開発コンサルタント  
 (株)共和コンサルタンツ  
 (有)福島測量設計調査事務所  
 九州工営(株)  
 (有)久保測量設計コンサルタント  
 正栄技術コンサルタント(株)  
 (株)東九州コンサルタント  
 (有)日豊測量設計事務所  
 日測コンサルタント(株)  
 (株)水理設計  
 (株)ダイワコンサルタント  
 (株)杉田測量設計コンサルタント  
 (株)ジオセンターM  
 (株)都南開発コンサルタント  
 (株)アップス  
 (有)カツキ技術士事務所  
 (株)共同技術コンサルタント  
 (株)総合開発工業

### 〔鹿児島〕

朝日開発コンサルタンツ(株)  
 小枚建設(株)  
 (株)久永コンサルタント  
 コーアツ工業(株)  
 大協(株)  
 親和技術コンサルタント(株)  
 (株)中村測量設計  
 (株)日峰測地  
 (株)大紀造園設計事務所  
 (株)建設技術コンサルタンツ

### 〔沖縄〕

(株)沖縄プランニング

## FAX の一斉発送 「テガルス」について

### 1. 活用のお願

事務局事務の省力化と経費節減を目指して、NTTのFAX一斉発送ができる「テガルス」を導入しました。このシステムによって事務局の432-4441の電話機からFAX原稿を、役員会のメンバーに、また第一部会から第六部会までの全会員に、各部会毎にそれぞれに一括して、簡単な操作で送ることができるようになりました。

送り方の説明は、事務局に備え付けてあります。

今後、お申し出により、利用の仕方に応じてグループ分けをしたいと思います。委員会活動等の招集、連絡にご活用ください。

2. FAX電話機を導入されたときは、速やかに事務局までご連絡ください。

3. 確実に受信できるように

FAX兼用の電話機をご使用の方は、自動切換えに設定しておいてください。設定方法はマニュアルをみるか、判らないときは買われたところにお問い合わせください。

自動設定ができないFAX電話機の場合は、スタートボタンを押すなど、受信へのご協力をお願いします。  
(総務委員会)

## 会誌「技術士」最近の主要目次

### 平成11年12月号

- ・巻頭言 森林への期待 / 判次雄
- ・地球温暖化と森林・林業・林産業 / 下山晴平
- ・温暖化する地球 / 今西忠
- ・「個室式夜行寝台バスの提案」後日記 / 福谷光雄
- ・20世紀最後の日食の怪? / 松並壮
- ・日本技術士会会員実態調査概要報告

### 平成12年1月号

- ・21世紀には世界で認知される技術士に / 梅田昌郎
- ・巻頭言 技術者の生涯キャリア / 大橋秀雄
- ・提言 わが国における風力発電部門の技術士の役割 / 竹内肇
- ・若いいぶき・つくば大学院物語 / 赤川英樹
- ・車両火災事故の原因究明事例 / 吉野達夫
- ・「測地成果2000」日本の位置の基準が変わる / 中根勝見
- ・新聞制作システムと適用IT技術 / 木村稔
- ・原子力関連事故報道・技術士のあり方 / 太田芳雄
- ・地域づくり研究会の活動 / 久保川孝俊
- ・APEC エンジニア登録制度が暫定充足へ
- ・国際シンポジウム「国際協力に求められる技術的人材」報告

### 平成12年2月号

- ・巻頭言 生活周辺空間の価値はいくらか / 西淳二
- ・著作権と倫理 / 奥田孝之
- ・発足した日本技術者教育認定機構 / 堀内純夫
- ・「潤う天草島づくり」への想い / 勇秀忠

- ・第29回日韓技術士会議報告
- ・第12回技術士補研修セミナーについて
- ・若いいぶき・技術士全国大会に参加して / 光波久美子・私の技術士補としての一年 / 松村有紀

## 編集後記

春は猫が鼠をとるのを忘れるといいますが、2000年の春はどんな春になるのでしょうか。命に関わるゲーム感覚の少年犯罪、踵を接するコンクリート崩落事故、繰り返される衛星打ち上げの失敗、何かしら穏やかならぬ、春の幕開けです。エネルギーな新世紀を迎えるための、積み積みもったエントロピーの放出でしょうか。

昨年後半に数々の行事で始まった、九州支部、センター事業国際化の幕開けは、今年も秋の日韓技術士会議の福岡開催と続きます。また今年是个々の部門に捕らわれない、幅の広い部門際化した技術士活動が実際に動き出す年になると思います。(完戸)

発行：(株)日本技術士会九州支部

九州技術士センター

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街7-1  
(シック博多駅前ビル204)

九州支部： ☎ (092)432-4441

Fax(092)432-4442

E-mail: engineer@joho-fukuoka.or.jp

九州支部ホームページ URL:

http://www.joho-fukuoka.or.jp/kigyo/engineer

センター： ☎/Fax(092)432-4443

印刷：(株)川島弘文社